

Q1 印象に残っている言葉は？

A1

てきとうぶき
倥傯不羈

by 新島襄

研究開発戦略センター（CRDS）着任当時の上司にあたる井村裕夫先生に揮毫いただいた言葉です。「高い知性と他者に流されない独立心や信念を持つ」という意味だそうです。

井村先生からは、知的興奮を大切にした上で、日本の未来を切り拓くことを常に意識しなさいとご指導いただきました。80歳を過ぎてもなお、さまざまな活動で多忙を極められているのに、常に医学系の最新の文献を勉強し続ける姿勢に研究への情熱を感じました。日々の地道な積み重ねが重要と信じ、どんなに忙しくても必ず文献に目を通し、「1日1件、面白い研究を見つける」ことを欠かさないように心掛けています。

Q2 現在の仕事の内容？

A2 研究開発戦略を立案する

CRDSは、科学技術全般の俯瞰的な調査、研究開発戦略の立案と、提言の実現に向けた関連府省や団体などへのPR活動などを行っています。その中で、私はライフサイエンス・臨床医学に関する分野を中心に活動しています。

最新の研究開発動向に対する感度を上げることが、何より重要だと考えています。日々、膨大な文献を読み込むことが活動の基本です。しかし、1人で収集し解釈できる情報量には限界があるので、全国へ積極的に足を運び、大学や企業のたくさんの研究者と意見交換をします。時には、「非公開だ



さきがける 科学人

vol.96

世界中の研究を学び 日本の未来を切り拓く

JST 研究開発戦略センター（CRDS）
ライフサイエンス・臨床医学ユニット
フェロー

辻 真博

Tsuji Masahiro

Profile

福岡県出身。2004年 東京大学農学部卒業。
同年 JST入構。ライフサイエンス・臨床医学分野の
俯瞰的調査と研究開発戦略の立案を実施中。

けれども、開発中の新技術がすごいことになりそう」といった楽しい情報に出会うこともあり、とても刺激的です。

これらの膨大な情報を基に、日本が世界の中で存在感を高めていくための研究開発戦略を考えます。そして、さまざまな府省や団体に対し、新規プロジェクトや新たな体制・ルール作りに向けた働き掛けをします。こちらの考えを、いつもそのまま採用してもらえとは限りません。しかし、世界中の研究を学び、日本の未来を切り拓くためにベストだと確信する研究開発戦略を考え、働き掛けを続けることが大切だと考えています。

これまで、生命科学や基礎医学研究、創薬・新規モダリティ開発、医学・臨床研究体制など、さまざまな研究開発戦略作り楽しく取り組んできました。現在は、再生医療のこれからの方向性として「デザイン細胞」への大胆な転換が重要だと考え、研究開発戦略を練り込んでいます。

講演や講義、専門誌の編集・執筆などのさまざまな活動の機会も多くなりました。「1日1件、面白い研究を見つける」という

日々の鍛錬は欠かさないようにしつつ、これら全ての活動に強いやりがいを感じ、楽しく活動しています。

Q3 休日の過ごし方は？

A3 子供たちと全力で遊ぶ

オンとオフの区別を明確にして、休日はとにかく全力で遊んでいます。息子の元気があり余っているので、あちこちの大きな公園に連れていくことが多いです。昨年はマレーシアのボルネオ島へ行き、現地のさまざまな昆虫と触れ合いました。自宅ではいろいろな種類のカブトムシやクワガタムシを飼育しており、子供たちと毎日世話をしています。次は何をして遊ぶかと考えると、ワクワクしますね。



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

JSTnews

April 2020

発行日/令和2年4月1日
編集発行/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)総務部広報課
〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3サイエンスプラザ
電話/03-5214-8404 FAX/03-5214-8432
E-mail/jstnews@jst.go.jp JSTnews/https://www.jst.go.jp/pr/jst-news/



最新号・バックナンバー